



令和6年11月
 編集・発行
 姫路市連合婦人会
 会長 岩田稔恵

姫路市本町68番地290
 イーグレひめじ3F
 TEL (079)224-2401
 FAX (079)224-2402



令和6年度

姫路市女性文化大会



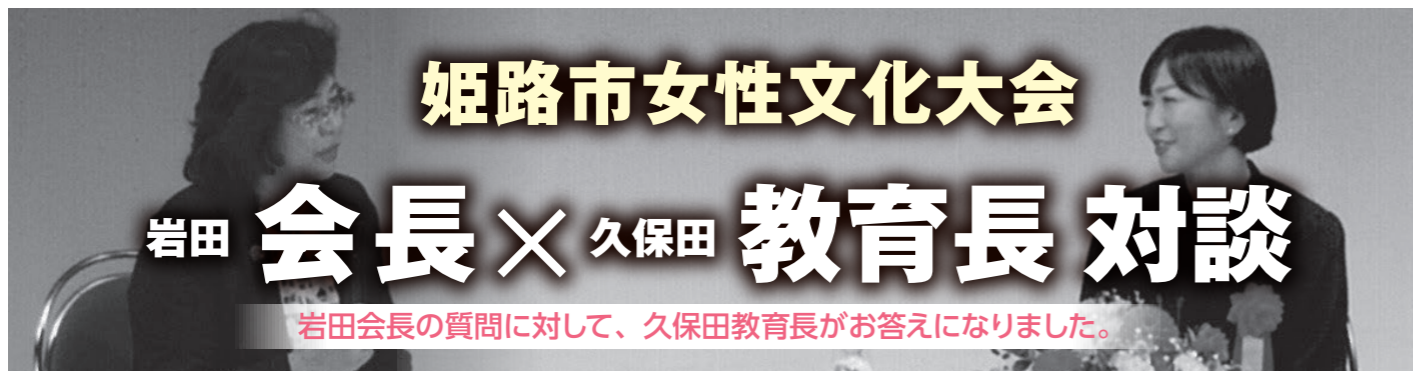
10月5日(土)、あいめっせホールにおいて、姫路市女性文化大会を開催しました。

姫路市長代理の副市長から中寺校区会長の河南眞稚子さん、四郷校区会長の竹中安美さんと城西校区女性部第4ブロックへ、また、岩田会長から城西校区役員の間見由美子さんへそれぞれ感謝状が贈呈されました。

その後、「特別養子縁組」の動画を視聴し、その内容や教育、子育てについて久保田教育長と岩田会長の対談がありました。

(対談の内容は2〜3ページに掲載しています)





特別養子縁組制度と里親制度の違いを教えてくださいませんか？

特別養子縁組制度は、子どもの戸籍が産みの親から育ての親に移ることが里親制度との大きな違いです。住民票や戸籍も、自分の実子として記載されます。書類上も親子になるという形です。一方で、里親制度の場合は、戸籍上は産みの親の戸籍に残り、親権もそのままです。ただ、育てることが難しいために養育は里親さんの下で行われることになります。

私は、特別養子縁組制度を使っただけですが、日本には様々な事情で親と暮らせない子が4万2千人程いるとされています。そのうち特別養子縁組は、毎年700件前後で推移しています。

親と暮らせない子どもたちの8割が施設で暮らしているという日本の現状において、里親制度は、そのような子どもたちに安定した家庭養育を提供することができる非常に大切な制度です。

里親制度では、週末とか、年末年始や夏休みのちょっと長めの休暇に、子どもを一時的に預かるなどの関わり方もあります。日本の現状は、里親の数がもっと必要ですので、もし興味のある方は、「子ども家庭センター」まで問い合わせをしていただきたいと思います。

特別養子縁組制度で、子どもを迎えるきっかけは？

私が結婚する前のことですが、子どもを産むのが難しいと診断されました。パートナーからは、「子どもを産む、産まないは関係ない。」と言ってもらい、結婚後も生活はすごく充実していたんですが、やっぱり、「子どもを育てるということをしたいね」と二人で思うようになりました。その時には特別養子縁組という選択肢があることは、知ってはいました。でも、何か特別な人たちがやる制度なんだろうなとしか考えていませんでした。その考えが変わったのは、あるテレビ番組で特別養子縁組を選択した家族の幸せな様子を見たことがきっかけでした。新しい選択をするときに、周りの人の影響は大きいんです。テレビで本当に幸せになる家族を見て、「あっ、この選択、私もできるかもしれないな」と思ったんです。夫とも話をして、特別養子縁組をお受けできるのであればお願いしようということになりました。

特別養子縁組を公表することに葛藤はありませんでしたか？

真実告知(※)について、みなさんはどう思われましたか。これは、それぞれの感じ方の違いになると思うんですが、直前まで住んでいたアメリカでは、養子縁組が活発なので、オープンに話されることでした。そのような環境から日本に戻ってきて、特別養子縁組を始めたので、言わないということの方が不自然とも感じられたんですね。真実告知は、自分にとって、そして、子どものためにも大切なことだと思っていたので、それを言わないということは考えていませんでした。逆に、言わないことは、子どもに対して「特別養子縁組を親はネガティブに感じている。」という別のメッセージを送りかねないとも思ったんですね。

だから戸惑いとかはないんですが、子どもが小学校、中学校に入っていく段階で、子どもに、どういう伝え方をしていくのが良いのかなという葛藤は今もありますね。

※真実告知…育ての親が子どもに対して、産みの親が他にいることを伝えること。

姫路のご印象は？

姫路ではワンオペで子育てをしているので、どうしても子どもをお店等にも連れて行かないといけないことがあるのですが、そんな時に子どもが騒ぎだして大騒ぎになってしまったことがあったんです。でも、お店の方に、非常に手慣れた感じであやしていただいたことがありました。これだけでなく、姫路で生活している中で、困っている時に自然に手を差し伸べてくれる方たちが、多くなって思いましたね。こういうふうな手を差し伸べてくれるだけで、私は助かりますし、余裕が生まれるし、きっと、娘も生活していく中で、いろんな人のお世話になっていくのかなと感じました。例えば先程の子どものあやし方にしても「あっ、なんだ、そうすれば良かったんだ」という、皆さんにとって、簡単だと思われることが、実は、下の世代になると分からなくなってしまうんです。東京で、核家族で生活していると分からなくなっていたことが、姫路で生活して助けていただいた経験で「あっ、なかったものに気付いた」という感じはありますね。姫路ではいろんな人との繋がりが残っているからこそだと思うんですね。



姫路市教育長として取り組んでおられること、今後の抱負をお聞かせください。

取り組んでいることの一つは、ICT教育(※)の推進です。これまでの学びでは、黒板の文章を書いて、読むということが中心でしたが、その「書く」、「読む」をパソコン上でもやるということなんです。あくまでも、パソコンは学びの「道具」ではあるんですが、本当にいろいろなことができる「道具」です。現在は、この「道具」が1人1台ありますので、子どもたちはタブレット(パソコン)を上手く使って、学びを豊かにすることを行っています。

もう一つは、探究的な学習の推進です。探究的な学習とは、自分たちで問題を探して、考えて、解決をしていく、そういう探究するプロセスを作るとい



う学びをしています。生成AIなどのテクノロジーが進歩する中で、人間である私たちは何をすべきなのかという、答えを暗記するというよりも、答えのない課題を見つけて、こうしたら良いんじゃないかなとか、創造的なことを発想できることが大切になってきて、そういう力が養える新しい学びに力を入れているところです。

※ICT教育…パソコンなどの情報端末を学校の授業に活用する取り組み

姫路市内の小中学校は全て小中一貫の義務教育学校に変わっていくのでしょうか？

結論から言いますと、全てが義務教育学校になるということではないかもしれませんが、小中の繋がり、縦の繋がり意識は極めて重要だと思っています。

私が、義務教育学校で感じたことは、小学1年生と中学3年生で縦の交流が作られているんです。例えば、中学3年生は多感な時期といえますが、小学1年生に対すると表情が変わります。本当に。先生に対しては尖っているかもしれないけど、相手が変わると、人ってこんなに変わるんです。このような経験が豊富にできること、これこそが縦の繋がり素直さです。義務教育学校にする、しないにかかわらず、小中の縦の交流を作っていくかなければいけないと思っています。

市立高校の統合についてお話を聞きたい。現在の市立高校のカリキュラムはどうなるのか？

現在の市立高校は1学年6クラスあり、規模として決して小さい訳ではないのですが、クラス数は減ってきており、スピードアップする少子化の影響のもとでは、高校のクラス数が増えていくというのは、現状では難しい。今の段階で、一つになることで、より充実した学校を作ることができると思っています。

カリキュラムについて、新市立高校では単位制となることになっています。単位制では、それぞれの生徒が、自分がやりたいと思うことに合わせて、授業を選択して、自分のスケジュールを作ることになります。単位制で選択できる内容は、現在の3校の特色あるコースをそのまま継承する訳ではないのですが、魅力ある授業、クラスを作るべく鋭意検討中です。

就任の際、定時出勤・退勤を心がけるとおっしゃられていましたが、お考えをお聞かせください。

記者会見での、「定時に来て、定時に帰ることを心がけます」という発言が「働き方改革」の文脈で紹介されたのですが、その趣旨としては、トップに立つ人が帰らないと、他の人たちは帰れないという意識が強くなりました。私がずっと残ることで、他の人たちが帰る選択肢がなくなることはやめようということです。

あと、私自身はワンオペで子育てをしていて、保育園への送迎も私がしているため、定時出退勤は子育てしながら働くことの必須条件になっています。そして、これが実現できないと次の女性のリーダーも生まれてこないんじゃないかという気持ちもあります。女性が家庭のことをしながらも上に立って仕事ができるということを示すのも必要だと感じたことも背景にあります。

最後に、特にお伝えしたいことがあればお願いします。

実は、教育委員会ではInstagramを始めました。なぜかという、教育委員会では、どういことが行われているのかが分からないと感じられる方が多いのではと思うんですね。一方で、学校は皆さんの大切な家族が一日の長い時間を過ごしているところで、そこでどういことが起きていて、その上位組織である教育委員会が何をしているのかが見えないことへの不安がすごくあるんじゃないかと思うんです。

姫路の学校でも先端の取組はたくさんあります。ただ、それをうまく整理できていない、発信ができていないがために、皆さんから見えなくなって「大丈夫なのかな」「ちゃんとやっているのかな」と思われている部分もあると思います。これは、実際に外から中に入って見て、実感していることです。

あと、学校現場の働き方について、学校の先生たちは、子ども中心に考えてくれていて、率先してやっている仕事がたくさんあります。簡単に「働き方改革」として、削ぎ落とすことはできないこともたくさんあります。でも、先生の役割が増えすぎている部分も多くあり、先生にとって一番大切な、子どもと向き合っ、良い教育をするってことに力が割けなくなってしまいます。

そこは、外からきた私だからこそ、「これは誰にお願いするのが一番良いのか」と、学校が担うべき業務を分類することができるのではないかと考えています。とは言え、じゃあ誰がやるのかという議論になったときに、例えば皆さんに「この部分ちょっとお願いできますか」と言うためには、教育委員会の中がどういことをして、学校現場がどうい状況にあるのかということをお皆さんに知ってもらい、共感、納得をしてもらってやっと実現できることかなんだろうと考えています。

そのためにも、皆さんには教育委員会のことをもっと知っていただきたいと思っています。本日の対談のような機会をまたいただき、一緒に連携していきたいと心から思っておりますので、皆さん何卒よろしくお願いいたします。

理事、会員研修会

9月18日(水)、研修で神戸須磨シーワールドと兵庫津ミュージアムに35名で行きました。須磨シーワールドでは、迫力満点のイルカショーを見

て感激しました。帰りのバスの中では、消費の勉強をして、暑い一日でしたがとても有意義な研修になりました。



令和6年度 第1回地域啓発講演会

9月27日(金)、活動室において、会員約30人が参加し、「生涯にわたる健康の保持増進を目標して」のテーマで百歳体

操、ひめつこ体操を体験しました。一時間の体操でしたが、良い汗をかく事ができました。



第74回社会を明るくする運動

7月1日(月)、JR姫路駅前社明啓発キャンペーンに連合婦人会から3名が参加しました。



「海の日」記念式典

7月15日(月)、姫路みなとドームで開催され、岩田会長が出席しました。



姫路市 人権のつどい

8月8日(木)、市民会館で行われ、岩田会長はじめ理事が出席しました。表彰のあと、読売テレビ放送 報道局特別解説委員 高岡達之氏の「ニュースの裏側から見た人権問題」についての講演がありました。



百歳の御祝

9月12日(木)、兵庫県連合婦人会と姫路市連合婦人会から、井上ちあき様へ100歳長寿の御祝を、岩田会長の代理で城西校区女性部の東山と伊勢田がお届けさせて頂きました。週3回デイサービスに行かれ、ご近所の散歩とおしゃべりを楽しみにされていました。連日の猛暑でクーラーのお部屋で体操されて過ごされていました。頭もハッキリ、目もスッキリ、耳も足も異常なく、こちらが元気を一杯頂きました。



姫路市連合自治会大会

7月18日(木)、アクリエひめじで開催され、岩田会長が出席しました。



社会福祉協議会 福祉推進委員会

7月9日(火)、姫路キャスパホールで開催され、岩田会長はじめ理事が出席しました。令和5年度の事業報告、令和6年度の事業計画などが示され、その後、NPO法人いねいぶるの宮崎宏興理事長による「つながりの中で生きる」と題した講演を聴きました。



兵庫県 婦人大会

7月23日(火)、加西市健康福祉会館で開催され、姫路市連合婦人会から岩田会長はじめ会員46名が出席しました。



姫路市 戦没者追悼式

8月15日(木)、姫路市市民会館で挙行され、岩田会長はじめ理事が参列しました。



日本赤十字社 献血セミナー

7月2日(火)、豊富小中学校において、前期6年生と献血セミナー講演会で血液の勉強をしました。



環境と美化のつどい

9月21日(土)、あいめつせホールで開催され、岩田会長はじめ理事が出席しました。エコアクション功労に、姫路市消費者協会が表彰されました。



街頭啓発活動

10月15日(火)、姫路市役所ロビーで、消費者協会から3名が参加し、特殊詐欺被害防止を呼びかけました。



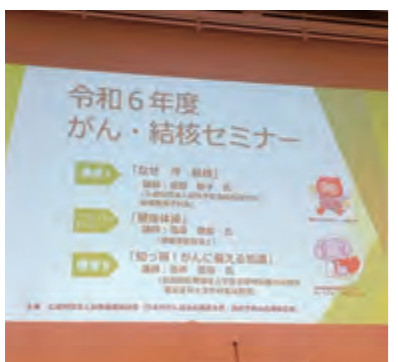
太平洋戦 全国空爆犠牲者 追悼平和祈念式

10月26日(土)、手柄山中央公園慰霊塔前で挙行され、岩田会長はじめ理事が参列しました。



がん・結核セミナー

9月25日(水)、神戸ポートピアホテルにて開催され、岩田会長と上野理事が出席しました。



らんま先生による環境エコ・パフォーマンスショーでは、空気砲の実験など大人から子どもまで楽しむことができました。



▲昔ながらのけん玉でふれあい

10月24日(木)、城西幼稚園で女性部とケン玉・輪投げをしました。元気な園児達に、にぎり方から教えて頂き、園児達は60回程リズムミカルに落とさず、私は5〜6回で一回のるのがやっとです。輪投げも心配そうなお顔で、点数が入ったら、自分のことのように喜んで大きな拍手をしてくれます。野北園長先生の子供達に対する教育の情熱はすばらしく、園児達の成長が楽しみです。国の宝である子供達に元気を沢山頂きました。来春閉園が残念でなりません。

(東山昌代)

76年の歴史も

来春閉園

城西校区



10月27日(日)、JA豊富体育館で自治会、婦人会、老人会が協力して東消防署職員と豊富分団団員の御指導のもと訓練が行われました。私たち婦人は豊富公民館で、豚汁、お汁粉を作り、訓練終了後配布しました。みなさんの協力のもとスムーズに終了しました。

(上野裕美)

災害時要援護者支援防災訓練

豊富校区



▲ファイヤーショー

11月3日(日)、見野古墳群和光公園にて開催されました。オープニングは、四郷和光子ども園園児がかわいいダンスや歌声を披露してくれました。勾玉づくりや火起こし体験をしました。子ども「ファースト」のイベントも多く、ファミリーがたくさん来てくれました。5,000人が集まり、会場はあふれんばかりでした。ファイヤーショーは炎と光のパフォーマンスで、歓喜の声がいつぱい広がりました。

(竹中安美)

第19回古墳祭り

四郷校区



校区婦人会活動報告

令和6年度 姫路駐屯地納涼行事

広峰校区



7月27日(土)、恒例の自衛隊納涼行事が開催されました。毎年事前練習があり、今年も新人隊員のために25日にみっちり2時間練習して、27日の本番に臨みました。当日は岩田会長をはじめ広峰校区婦人会40名で盆踊りに参加させていただき、最後は皆で花火を楽しみ、良い納涼行事となりました。

(藤谷有香)

ふれあい喫茶といきいき百歳体操と認知症サロン

中寺校区



毎月第2月曜日の午前中に溝口自治会館でふれあい喫茶を開催しています。10月14日はパンとコーヒーのモーニングを提供した後はカンタービレさんによるヴィオラとチェロの演奏を聴きました。モーニングの後は毎月、地域の方々による楽しい催しをご覧いただけます。11月11日は藤田さんのギター演奏、12月9日は鳳扇会の舞踊がお楽しみいただけます。

毎月第1・3・4・5月曜日の午前中はいきいき百歳体操と認知症サロンをしています。

いきいき百歳体操は椅子に座ったの簡単な体操が30分です。

認知症サロンはお口の体操やガンバルン体操やしゃきしゃき体操、ひめつこ体操さらに童謡唱歌と一緒に歌うなどの中から選んで30分、その後にお菓子とコーヒーを飲みながらおしゃべりを楽しんでいきます。

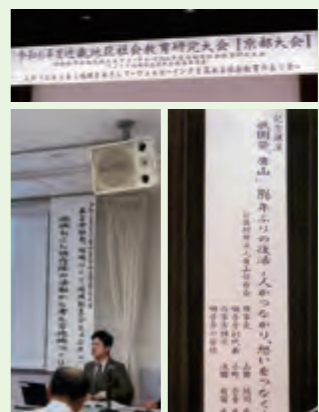
(河南真稚子)

県の事業

令和6年度近畿地区社会教育研究大会

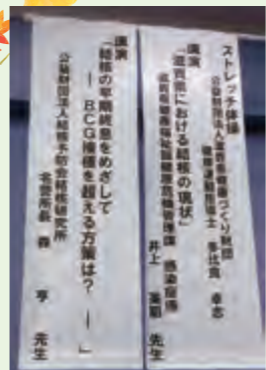
〔京都大会〕

9月6日(金)、京都テルサで開催され、岩田会長が出席しました。



令和6年度近畿地区結核予防婦人団体幹部講習会

9月10日(火)・11日(水)、ホテルボストンプラザ草津で開催され、岩田会長が出席しました。



令和6年度全国女性団体連絡協議会近畿ブロック会議 in 京都

7月1日(日)、京都テルサに於いて、全国女性団体連絡協議会が開催され、岩田会長が出席しました。



第72回全国女性団体研究大会 in 京都

10月6日(日)・7日(月)、京都テルサに於いて、全国女性団体研究大会が開催され、岩田会長が出席しました。



ご存知
ですか?

あいめっせだより

ひめじ男女共同参画情報誌 ウェーブレット

『ウェーブレット』は創刊31年

『ウェーブレット』は、市民と共に男女共同参画について考える情報誌として、平成5年(1993年)に創刊されました。春・秋の年2回発行しており、このたび、通算60号を迎えることができました。

誌面では、身近なテーマからお堅いテーマまで、男女共同参画に関する様々な記事を提供しています。

『ウェーブレット』は市民と共に

『ウェーブレット』の編集は、市民の編集委員が行っています。

編集委員は、市民の目線から各号のテーマ選定、インタビュー、記事の執筆など誌面作りに幅広く携わっています。編集委員は定期的に公募されますので、興味を持たれた方は是非ご応募ください。公募は広報ひめじなどでお知らせします。

『ウェーブレット』最新号(第60号)のお知らせ

- ・男女共同参画週間講演会 木山裕策さん
- ・災害対応力を強化する「女性の視点」と「地域とのつながり」
- ・気持ちがスッと軽くなる 夫婦円満「心の伝え方」
- ・夫婦が本音で話せる魔法のシート 「〇〇家作戦会議」



▲最新60号(2024年)

姫路市ホームページ(男女共同参画に関する発行物)
内容に興味を持たれた方は下記リンク又はQRコードまで
<https://www.city.himeji.lg.jp/kurashi/0000009231.html>



あいめっせ
図書コーナーで
閲覧できます。

バックナンバー表紙ギャラリー



▲50号(2018年)



▲40号(2013年)



▲30号(2008年)



▲17号(2001年)
あいめっせオープン



▲創刊号(1993年)

姫路市男女共同参画推進センター“あいめっせ”

〒670-0012 姫路市本町68番地290 イーグレひめじ3階 Tel.079-287-0803 Fax.079-287-0805
ホームページ <https://www.city.himeji.lg.jp/i-messae>